

# 女子美術大学ニケの会 会報

2011.9 第3号



ニケの会は「学生の父母、保護者が中心となり、大学と協力して学生生活の向上をはかり、大学の発展に寄与し、会員相互の親睦と教養を深めること」を目的としています

## CONTENTS

- 2 新学長に聞く
- 3 先生直撃レポート
- 4 ニケの会 活動報告Ⅰ
- 5 ニケの会 活動報告Ⅱ
- 6 ニケの会 活動報告Ⅲ
- 7 平成23年度 総会報告
- 8 インフォメーション

当会の名称である「ニケ」とは、ギリシア神話の勝利の女神。戦いだけでなく競技・技芸にも勝利を授けるといわれています。

お馴染みの「ニケ像」は「サモトラケのニケ」のこと。1863年にエーゲ海のサモトラケ島で発見され、現在はフランスのルーブル美術館に所蔵されて、「ミロのヴィーナス」とともに、ルーブルの至宝の双璧といわれています。高さは3m20cm。優美で躍動的に翼を広げている女性の彫像です。このレプリカ石膏像が約50年前から女子美術大学 杉並校舎2号館の中庭に設置されています。このため、この中庭はニケ像への親しみを込めて「ニケ広場」と呼ばれています。「ニケ」の名称は女子美のシンボルとしてデザインされ、バッジや印刷物に使われています。

ニケの会ホームページ<http://www.pcs.co.jp/nike/index.htm>  
(女子美ホームページ→大学案内→ニケの会→ニケの会ホームページからも入れます。)

## 新学長に聞く

女子美術大学では、佐野ぬい学長の任期満了(2011年5月31日)に伴い、2011年6月1日付けでよこやまかつき横山勝樹教授が女子美術大学学長に就任されました。

ニケの会では、6月5日学長室に横山学長を訪ね、お話を伺いました。

### —元気なキャンパス—

どのような女子美の姿が理想とお考えですか—

まず1つは、元気なキャンパスです。学生が学校の中で元気に学ぶことだけでなく、遊ぶことにもキャンパスを活用してほしいのです。クラブ活動も充実させたいですね。20年前、僕は落研の顧問でした。あの頃はプロの落語家が女子美に来ることを楽しみにしてくれていました。

大学のクラブ活動は運営自体を学生がするわけで、それ自体がひとつの社会です。与えられたものだけではなく自分達で行動していく事は実社会に出た時に大きな力になります。

2つめは、キャンパスの国際化です。歴史的に見ても、戦前から女子美で学んで母国で活動する留学生たちは数多かったのですが、今後も世界に発信できる大学であり続けたいですね。学生は世界の中で自分がどういう位置にあるか知ってほしい。それが本学に来る意味であると思います。

女子美の伝統はどのように進化させるとよいでしょうか—

111年前「芸術による女性の自立」をかかげて本学は設立しました。当時女性が絵を描いて発表する場さえなく、自立とは女性が一人でも生きていけるというストレートな意味でした。

今は、社会も変わり、「女性の自立」には新しい意味が出来ました。経済的な問題だけではなく、世の中に対して発信し、決定に関与できる。それこそが自立の新しい意味です。女性として男女の考えの違いをしっかりと発言して、社会に貢献していく学生を育てたいと思います。



女子美生にとっての就職とはなんでしょう—

4月の4年生は、淀んだ表情をしていますね。家庭と大学のはざまで揺れている訳です。専門職の求人は減少しています。しかし本学学生を求める求人自体は数多く来ているのです。そこで、自分の将来へのジレンマがでます。学生サービスの充実にはキャリア支援は重要なポイントですので、学生だけではなく家庭へもニケの会を通じてより多くの情報を発信したいと思っています。

—親は誰も娘を応援したいと思っています。しかし、知らないことは見当違いな応援になってしまいます。多くを知ることは重要ですね—

インタビューは 横山学長のお人柄から、なごやかな雰囲気となりました。

ニケの会、鈴木会長に「学長と親しくお話しできたのがなんともうれしい!」と4人の気持を代弁して頂きました。ニケの会の総会では、学長はじめ先生方と直接お話しをすることができます。

「元気な活気ある女子美を」とおっしゃった横山学長と共に、ニケの会も一緒に歩みたいと思います。



### PROFILE

横山 勝樹(よこやま かつき)

<経歴>

1983年 東京大学工学部建築学科卒業

1990年 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了工学博士

1990年 女子美術短期大学専任講師

2000年 女子美術大学 芸術学部 デザイン科教授

現在 女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科環境デザイン専攻教授  
女子美術大学 大学院 美術研究科 博士後期課美術専攻教授(デザイン)  
女子美術大学 大学院 美術研究科 修士課程デザイン専攻教授(環境造形)



## 先生直撃レポート 第3回 津田裕子教授(彫刻家)

7月某日、相模原校舎に津田裕子教授の研究室を訪ねました。津田教授は現在、女子美110周年記念の最終事業として本学の創立者である「横井玉子先生・佐藤志津先生の胸像」を制作中。ご多忙の中「ニケの会」のために大変に貴重なお時間を頂きました。



小学校1年の先生に「将来美術の道へ」といわれたほど、絵や彫刻が好きでした、と素敵な笑顔の津田教授。お住まいに近かった女子美術大学付属高校に進学させたのは自然の成り行きだったようです。

### 彫刻との出会いは—

高校1年の絵画のクラスで作った頭像が最初です。その後(彫塑家の)桑原巨守先生との出会いから女子美の彫塑科1期生となるのですが、絵の勉強のプラスになるといふくらいの気持ちで、何も知らないで飛び込んでいった世界でした。

当時は女流彫刻家の少ない時代で、女性は鋳物工場にも入れてもらえない、一家言もっている職人さんに動いてもらうためには、仕事をやって見せて、やっと理解してもらおう、という時代でした。

### 先駆者だった教授から今の時代はどのように見えますか—

私の時代は、ステップを踏んで10年、20年続けて作家の入り口に立った時代。今は(自分を発信するための)色々な方法がありますね。それだけに、迷うことも多いかもしれないけれど、自分に合った道を選べばよいと思います。ただ、迷った時に「戻るところ」がないとダメ。そのために学生には「核になる部分」の勉強をしっかりして欲しいと思います。

### 将来の道を定めるときのアドバイスをお願いします—

自分がどのような方向で何をしたいか自問自答してください。そして、向かうときには飛び込んで行って邁進しないと半端になってしまいます。自分の英知できちんと対峙している子は希望を手にかけていると思います。(女子美で磨いた)能力はどんな道にでも発揮できます。私はそのような卒業生をたくさん見てきました。

ベストを尽くして、振り向いたら「道」ができていて、そういう生き方をして欲しいですね。

### 親は子供たちをどのように応援すればよいのでしょうか—

まず、本人が志のためには(相手)を説得してでも自分の道を走らなければなりません。そして自分を支えてくれる人をどれだけ持てるか、そのために自分は何をする

か、そこがわかっているならば、あとは寛大に見守ってあげることはないでしょうか。

### 教授にとって「つくること」とは何ですか—

七転八倒しながら向かっても納得のいくものができるかはわかりません。だから、またつくりたくなる。やればやるほど「つくること」の魅力に取りつかれていくようです。

全身全霊で向かう気力がなくなるまで真摯に制作に励んでいきたいと思っています。

胸像設置予定地

そんな津田教授に現在制作中の胸像がある工房を案内して頂きました。

「生き様、考え、判断」に出会い、それを形にしていきたいという教授の創作

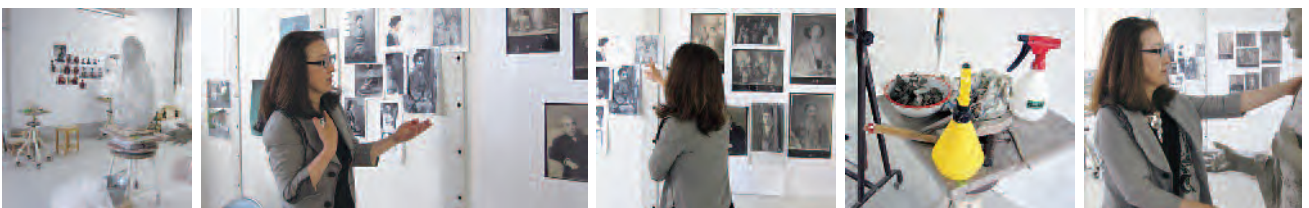


への姿勢は、着物の質感、時代の慣習を正確に知りたくて集められた資料からも感じ入ることができました。

今秋、長い時を一望できる景色が皆の集う学食を背景に登場します。女子美を代表する多田美波さんのオブジェを丘の上に臨み、横井先生、佐藤先生の志を21世紀の今、津田教授が映しだしてくださいませ。ここからまた次代の芸術が生み出されることを楽しみにしていきたいと思います。

### PROFILE

1969年 女子美術短期大学彫塑教室卒業  
1977年 二科展初出品特選'87会員となる  
1984年 安田美術財団奨励賞展優秀賞受賞  
高村光太郎大賞展 箱根彫刻の森美術館賞受賞  
二科展会友賞受賞  
1984~99年 日本の美・現代女流美術展出品(彫刻の森)  
1986~2007年 ギャラリーユニバースで個展5回  
1991年 安田美術財団奨励賞記念展特別賞  
1991~92年 海外研究員としてミラノ滞在  
2002年 「現代彫刻5人展」日本橋高島屋  
二科展会員賞受賞  
2008年 二科展ローマ賞受賞  
野外彫刻国会図書館、東京都有明テニスの森公園、マニラ市、名古屋市、伊東市、福井市、福島市、他都市設置  
現在 女子美術大学芸術学部美術研究科 立体アート教授  
女子美術大学 大学院 美術研究科博士後期課程美術専攻教授  
女子美術大学 大学院 美術研究科 修士課程美術専攻教授



## 女子美祭 2010.10.23-24

「ニケの会」では、広報活動・会員募集活動の一環として女子美祭の2日間、模擬店を出店しました。相模原キャンパスでは、プロ仕様の豆を使ったコーヒーとドーナツの販売。また、初の試みとして、ポストカードにした学生の作品を展示販売しました。ポストカードが売れた学生からは「自分が認められた様で嬉しいです」との感想をもらいました。

杉並キャンパスでは、学生達の趣向を凝らしたメニューのブースが並ぶ中、仕入れ・材料にこだわった、焼きそばとフランクフルトを販売しました。

模擬店を通して、およそ1,000人の方々と触れ合うことができ、お手伝いくださったお父様・お母様からは、「若かりし学生時代を思い出し、楽しかった」との感想を頂きました。模擬店での売上の一部は、学生達の活動支援にも使います。今年も女子美祭での出店を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



## 110周年記念式典 2010.11.3

11月3日(水・祝)、有楽町マリオン「朝日ホール」で開催された創立110周年を記念した式典に「ニケの会」も招待して頂きました。

式典では大村智理事長の挨拶に続き、特別講演ではOGで女優の奈良岡朋子さんが女子美にご入学なさる経緯から現在に至るお話しをしてくださり、素敵な女性の生き方の指針を頂いたような思いがしました。そして、祝辞は同じくOGで女優の桃井かおりさん。これからでも娘を生んで女子美に入学させたい、とのお話に会場から微笑みがあふれました。



大村智理事長



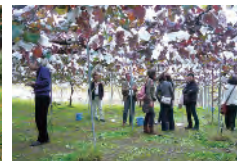
## バスツアー 2010.11.13

11月13日(土)に「ニケの会」初のバスツアーで葦崎・勝沼(山梨県)に行ってきました。

晴天の行楽日和、土曜日とあって高速は渋滞、予定より大幅に遅れて葦崎大村美術館に到着しました。待ちかねた様子で大村理事長が迎えてくださり、美術館に隣接したご自宅とお庭を拝見させて頂きました。

美術館の展示は、女子美を卒業された作家の作品が多く、80歳、90歳になっても描き続けるというパワーあふれる素晴らしい作品を間近にすることができました。

美術館を後にすると、いよいよランチタイムです。バスで勝沼のぶどう園に移動し、ぶどう棚の下でのバーベキュー！サービスの白ワインがお腹にしみわたり、肉と野菜をジュージュー焼いてモリモリ平らげました。お腹いっぱいになったところでぶどう狩りです。この時期は甲州という品種のみで、少しすっぱかったのですが、楽しく狩って食後のよいデザートになりました。最後は石和の足湯温泉(手湯もあり)に立ち寄り、気持ち良く体の芯までポッカポカ。20分足湯につかると免疫力がアップし、風邪を引きにくくなるとガイドさんが教えてくれました。あっという間に帰路となり、朝が早かったので帰りのバスは眠りたい方もいたと思いますが、ビンゴゲームやカラオケでまたまた大盛り上がり、ワイワイ楽しい一日となりました。



## 交流会(杉並) 2011.5.14

### I 講演会

女子美術大学短期大学部 鹿島 蘭准教授による「絵巻—マンガ・アニメーションの源流を探る—」を開催いたしました。

源氏物語絵巻などのスライドを拝見しながら、わかりやすく「絵巻における物語の絵画化」、「絵巻における空間と方位の考え方」などをわかりやすく解説して頂き、学生時代に戻ったかのような充実したひとときでした。また、博物館で見ると絵巻も実際にお持ちくださり、手に取って拝見できたのには、一同感激でした。マンガを読むがごとく…には至りませんが、次に「絵巻」を観る機会には、ちょっとその謎解きが理解できそう、と納得の講演会でした。



鹿島 蘭 1990年 女子美術大学芸術学部芸術学科造形学専攻卒業  
1995年 筑波大学大学院博士課程芸術学研究科芸術学専攻修了  
博士[芸術学]

著 書 「弘法大師伝絵巻—十巻本について」 『MUSEUM』 「三大寺本系高野大師行状繪」 『佛教藝術』  
「絵巻における説話画の特性—時間と空間からの考察」 『女子美術大学研究紀要30号』





## II 勉強会&茶話会

知的好奇心もすっかり満足した後は・・・、  
鹿島准教授もご参加くださり、八十島キャリア支援担当部長と  
神田キャリア支援センター職員に昨今の就職活動について、解説  
頂きました。

興味津々の内容に茶話会の時間にもずれ込み、お茶を頂きながらの  
お勉強会となりました。途中からお越しくくださった横山学長、橋本芸  
術学部長もご一緒頂き子供たちの将来についても話が及びました。



## 交流会(相模原) 2011.6.5

### I キャンパスツアー

6月5日、相模原校舎のキャンパスツアーを開催いたしました。  
日頃、子供たちが制作に勤しむ現場を、川上校友室長  
にご案内頂きゆっくり見てまいりました。

工房の先生方からも、制作の工程や、工房設計の意図など、  
興味深いお話を伺えた貴重な時間でした。

### II 懇談会

6月5日、23年度定時総会后、懇談会をさせて頂きました。  
会場には横山学長はじめ、日本画専攻の橋本弘安芸術学部長、  
教養研究室の林正寛教授、洋画専攻の馬場章教授、芸術学科の  
坂田勝亮教授、立体アート専攻の平戸貢児教授、メディア表現  
領域の川口吾妻教授がお越しくくださり学生の様子などを聞かせて  
頂き楽しい会となりました。



\*詳しくはHP <<http://www.pcs.co.jp/nike/index.htm>>をご覧ください。

## 地方懇談会(福岡) 2011.7.30

博多駅前、ホテルセントラーザ博多内の「ブラッセリー・プチサンク」に  
て九州地区対象の地方懇談会を開催いたしました。当日は34名もの父母、  
保護者の方が出席くださいました。

会長挨拶に続き、出席者の紹介を行いました。先生方は芸術学部・洋画  
専攻の大森悟准教授、立体アート専攻の平戸貢児教授、工芸専攻の大澤美  
樹子教授、短期大学部・美術コースの弘中雅子教授、デザインコースの後  
藤浩介教授と5名出席頂き、保護者の皆様と同じテーブルに着き、お話し  
くださいました。「学生生活について」では、ビデオレターを上映し、杉  
並、相模原の各キャンパスの様子や学生食堂の紹介、各学科の創作活動の  
様子を見て頂きました。創作活動の様子は先生方に直接解説頂け、とても  
理解しやすかったと思います。引き続き、ニケの会活動報告、就職支援について、大学の現況報告と  
プログラムが進み、盛況の内に3時間が過ぎて行きました。



大勢の方の参加があったことと、各学科でまとまって話のできたの  
でニケの会会員相互の情報交換もできたのではないのでしょうか。席の  
都合で先生方と十分にお話できなかつたり、他にもまだまだ反省すべ  
きことがあります。今後も続けることによって改善していきたいと思  
います。

後日、当日ご出席くださった大森准教授からは「さらに学生報告を充  
実させ、地域性のある懇談会や活動へと展開させられるようサポート  
していきたいと思います」と心強い言葉を頂きました。

最後に、九州支部の発足を皆さんにお願いしたところ快く承諾して  
頂きました。さらに、支部長は岡直子さんが快く引き受けてくださ  
いました。次回の懇談会も楽しく、有意義に過ごせる場になりたいと思  
いますので、皆様のご参加をお待ちしております。



## 地方懇談会(広島) 2011.7.31

広島ガーデンパレス「朱鷺の間」にて、ニケの会中国・四国地区地方懇談会を開催いたしました。当日のご参加者は23名、本部役員と大学主催側を含め、総勢36名で懇談会が始まりました。ニケの会の鈴木会長の挨拶「ニケの会の発足の経緯についての話」につづき、本部役員紹介、大学職員紹介では、大学院美術研究科長で芸術学部・洋画専攻の上葛明広教授、洋画専攻の清水美三子准教授、ヒーリング表現領域の山野雅之教授、短期大学部・美術コースの吉武研司教授が、それぞれの学科や学生の様子などのお話しをしてくださりました。

その後の会食時には、ニケの会制作のビデオで学校の様子を披露し、中でも、環境デザイン1年生のお嬢さんからのビデオレターには、当日ご参加くださったお母さまから「びっくりしました。久しぶりに見る娘の姿に嬉しかったです。」と喜んで頂きました。

学科別に4テーブルに分かれて、先生を囲んでお話しをしながらの会食は、皆さんの緊張も解け和やかな雰囲気になっていきました。会食の後は、キャリア支援センターからの就職状況や就職支援についての説明がありました。皆さん熱心にメモを取りながら、聴いていらっしゃいました。その後の質疑応答も、日頃ご心配なされていた事の質問が沢山されました。

年に一度の地方懇談会ではありますが、離れて暮らすお子さんの大学生活のご報告、また、ご心配事の解消の一助となる場になり、そして何より先生方や保護者の方々同志の交流の場となれば、ニケの会の発足の趣旨が達せられた事と思っております。

閉会に近づき和やかに話が弾むなか、益々のニケの会地方懇談会の発展のため、広島支部役員となってくださる方をお願いしたところ、快く引き受けてくださった方々をご紹介します。内海史子さん、長嶺久美恵さん、向川智恵美さんです。広島支部役員として三人の方々にご協力して頂きます。



## ご質問にお答えします。ニケの会Q&A

| Question                            | Answer   |
|-------------------------------------|--|
| <b>Q1</b> 美大生の就職活動はいつごろからやればよいのですか？ | <b>A1</b> 一般大生の就職活動とは違い、美大生の就職活動は、いわば入学直後から始まる作品制作などからスタートしているとも言え、1年から3年までの集大成（この間に何をどのくらい行ってきたか）が就職活動の勝負となります。企業へのエントリーは3年次の12月に始まりますので、その時点までに、どれだけ今まで力を入れた作品を制作してきたか、そしてその作品を収めるポートフォリオの制作・自己分析・企業研究を十分に行う必要があります。また、短大生の場合は、入学年の秋から就職活動が開始されますので、入学直後から就職活動をスタートする必要があります。  |
| <b>Q2</b> 女子美生の就職にはどのような特徴がありますか？   | <b>A2</b> 女子美は他の美大に比べて、女子大ならではの制作環境で培った感性やデザインスキルが評価され、キャラクター業界や玩具業界、服や鞆、靴、ジュエリーなどのファッションアイテム業界など、特に女性の生活に密着した業界への就職が強いという特徴があります。その一方で、家電や自動車などの工業デザインの分野においても、環境に配慮した女性的な優しい柔軟なデザインが主流となっており、近年デザイナーとして活躍する卒業生が増えてきています。またデザイナーという職種にとどまらず、他の職種においても女子美生は美術、デザインを学ぶ過程で身につけた発想力や企画力、プレゼンテーション能力などの能力や仕事に臨む真摯な姿勢から高い評価を受けています。 |

『二つの星』 山崎光夫著 出版社：講談社  
横井玉子と佐藤志津 女子美術大学建学への道

現在、津田先生が胸像を制作中の女子美術大学を創った二人の母。生みの母の横井玉子（1854～



1903)、育ての母の佐藤志津（1851～1919）。女子美の原点である二人の女性の生き様が、浅井忠、島崎藤村、黒田清輝らとの交流を通して描かれ、その源泉と苦難の道のりから女子美の建学の志を知ることができます。

## 2011年度 女子美アート・セミナー ☆通年講座 開講中☆

日本画／デッサン／クロッキー／ポタニカルアート／銅版画・リトグラフ等計8講座を通年で実施しています。途中からの受講も可能で、初心者の方歓迎です！！



詳しくは下記までお問い合わせ、または本学Web (<http://www.joshibi.ac.jp/>)で。

〈お問い合わせ・資料請求〉本学オープンカレッジセンター

〒164-0012 東京都中野区本町6-16-11 ASビル6F

TEL：03-5340-4646 / FAX：03-5340-8106 / Mail：sem@venus.joshibi.jp



# 平成23年度 総会報告

## 女子美術大学 ニケの会 第2回総会

6月5日(日)、女子美術大学相模原校舎において女子美術大学ニケの会の23年度定時総会が開催されました。

一昨年の10月に発足した「ニケの会」は、現在の会員数が258名(総会時点)になります。総会には24名の出席があり委任状と合せて143名となり総会は成立いたしました。

議事に先立ちまして小倉文子常務理事(アート・デザイン表現学科ファッションテキスタイル表現領域教授)より、「ニケの会を通して女子美を知って頂きたい」と、ご挨拶を頂きました。

総会では鈴木靖則前会長が再任され、さらに本部役員・会計監査の選出、平成23年度活動計画、平成23年度予算等全ての議案が承認されました。また、大学側より、総会開催についての祝辞と「ニケの会」の活動についての感謝が述べられました。引き続き懇談会が開催され、教職員、保護者間の親睦を深めました。

## 平成23年度 ニケの会 総会



| 平成23年度 活動計画                                    |  |
|--|--|
| 本会則第3条の「目的」、第4条の「事業」に沿って、以下の活動を推進する。           |  |
| 1. 活動の企画および運営のために次の会を開催する。                     |  |
| (1) 定時総会 平成23年6月5日(日) 相模原校舎                    |  |
| (2) 本部役員会 随時                                   |  |
| 2. 会員の教養を高めると共に、親睦をはかるための事業を実施する。              |  |
| (1) 相模原キャンパス見学ツアー 6月5日(日)                      |  |
| (2) 地方懇親会(広島・福岡) 7月                            |  |
| (3) 女子美祭において会員募集活動および模擬店出店 10月29日(土)~10月30日(日) |  |
| (4) ホームページによる展覧会情報、キャンパスレポートなどの情報発信            |  |
| (5) 講演会 年1~2回                                  |  |
| (6) バスツアー 11月                                  |  |
| (7) 学生活動への助成                                   |  |
| 3. 会報の発行 9月に第3号を刊行                             |  |

| 平成23年度 ニケの会 予算 |           |                     |
|----------------|-----------|---------------------|
| 自 平成23年4月1日    |           |                     |
| 至 平成24年3月31日   |           |                     |
| (単位:円)         |           |                     |
| 収入の部           |           |                     |
| 科目             | 予算        | 摘要                  |
| 前年度繰越金         | 935,127   |                     |
| 会費             | 1,548,000 | 6,000×258人          |
| 雑収入            | 0         | 預金利息                |
| 合計             | 2,483,127 |                     |
| 支出の部           |           |                     |
| 科目             | 予算        | 摘要                  |
| 役員会・委員会費       | 200,000   | 会議費、役員交通費(1,000円/月) |
| 会報印刷費          | 350,000   | 会報 年1回発行 4,000部     |
| 総会費            | 160,000   | 往復はがき、懇談会費          |
| 地方懇親会費         | 400,000   | 会場費・交通費(福岡、広島)      |
| 女子美祭費          | 300,000   | 模擬店 材料費等            |
| ホームページ維持費      | 120,000   | 年間管理委託料             |
| 交流会費           | 150,000   | 講師謝礼、茶話会費等          |
| イベント費          | 250,000   | ツアー参加費補助            |
| 学生助成費          | 200,000   | 学生企画展への支援           |
| 消耗品費           | 30,000    | 事務用品等               |
| 雑費             | 20,000    | 振込手数料等              |
| 通信費            | 100,000   | 郵送費等                |
| 予備費            | 203,127   |                     |
| 合計             | 2,483,127 |                     |

| 平成23年度 本部役員 |       |                |
|-------------|-------|----------------|
| 会長          | 鈴木 靖則 | デザイン学科4年       |
| 副会長         | 中村 隆志 | メディアアート学科4年    |
|             | 吉田 千代 | 絵画学科洋画専攻4年     |
| 会計          | 湯山るり子 | 立体アート学科4年      |
|             | 木下ルミ子 | 絵画学科日本画専攻3年    |
| 庶務          | 角田 恵子 | メディアアート学科3年    |
|             | 神田 明美 | 造形学科デザインコース2年  |
|             | 吉村 久好 | ファッション造形学科4年   |
|             | 須田 由美 | 工芸学科4年         |
|             | 坂入紀美子 | 芸術学科3年         |
| 会計監査        | 安高 俊彦 | 絵画学科日本画専攻3年    |
|             | 藤沢まゆみ | デザイン学科3年       |
| 事務担当        |       |                |
|             | 鈴木 昌美 | 法人副本部長・学生部事務部長 |
|             | 川上 勇  | 校友室長           |
|             | 白柳 弘美 | 校友室            |
|             | 谷相 芳美 | 校友室            |

## 総会、懇談会に出席して

吉元 順子 (美術学科洋画専攻1年 保護者)

### 感動の一日!

キャンパス見学会、総会、懇談会と参加させて頂きました。キャンパス見学会では、事務の方の丁寧な解説とともに、実際に子ども達が学んでいる教室を見学する事ができ、ぎっしりと並んだキャンパスや絵の具の匂い、窓からの景色や、こんなふうに光の差し込む場所で絵を描いているんだ・・結構、力仕事も自分達で頑張っているんだなあ・・などと娘の学校生活を実際に肌で感じる事ができました。また、日曜日ではありましたが、各教室で制作、作業中の学生さんや先生にもお会いすることができ、ニケの会から参りましたと申し上げると、実際に制作に使う道具の説明や材料も見せてくださり、また今後の課題の事や学生の様子など、本当に丁寧にご説明してくださいました。

総会と懇談会では、横山学長はじめ、学部長、学科長、主任の先生方にもお目にかかることができ感激いたしました。先生方の女子美生に対する深い愛情を感じる事ができましたし、なによりも先生方の雰囲気がとても温かく和やかでしたので、親の愚痴のようなことまで聞いて頂き、テーブルを囲んでの懇談会は本当に楽しいひとときでした。

またご一緒したニケの会員の皆様とも学年や学科を超えてお話する事ができ、貴重な情報交換にもなりました。

娘の成長とともに、これまでもPTAのお手伝いをさせて頂いてきましたが、最後となる大学で、芸術の香り豊かな、そしてこんなにも和やかな楽しい会に参加させて頂く事ができ保護者の一人として心から幸せに思います。女子美の素敵さをますます実感できた感動の一日でした。ありがとうございました。



参加者募集

10月2日(日)

江戸KIMONOアート/横浜  
—文化とちょっとお腹を満たす会—

女子美術大学が特別協力をしている「江戸KIMONOアート」展の鑑賞&美味しいランチはいかがですか。

本展は、女子美術大学所蔵12000点の染織コレクションの中から、着物文化が頂点を極めた江戸時代の小袖や振り袖の紹介。桃山文化の遺風を受け継ぎながらも、江戸の新たな美意識を着物のデザインにビジュアル化しています。

その画期的な技法や意匠表現などを、当日は岡田 宣世教授（女子美術大学芸術学部 デザイン・工芸学科 工芸専攻 大学院 美術研究科 修士課程 工芸研究領域）に解説頂きながらのスペシャル鑑賞会&ランチです。詳しくは「ニケの会HP」まで。



10月29/30日女子美祭

今年も「ニケの会」では、女子美祭に模擬店を出店します。相模原キャンパスでは美味しいコーヒーとドーナツ販売。そして、昨年大好評だった女子美生が作ったオリジナルポストカード販売。更に、今年からニケの会メンバーの手づくり作品も販売します。杉並キャンパスでは毎年大行列の焼きそばにフランクフルトを販売します。

「ニケの会」では女子美祭にお手伝いしてくださる方を募集しています。子供たちに混ざって女子美祭を楽しみませんか♪？

- 募集！・学生のポストカード  
・ニケの会会員手作り作品  
・女子美祭当日販売のお手伝い



詳しくは  
「ニケの会HP」まで。

11月12日(土)バスツアー

## 「箱根の美術館と紅葉を楽しむツアー」

ニケの会では会員の親睦を深めるために、今年もバスツアーを企画しました。ポーラ美術館で開催されている「レオナルド・フジタ展」を鑑賞し、紅葉狩り、美味しい昼食を楽しみたいと思います。詳しいお知らせ、お問い合わせ、お申込みは「ニケの会HP」から。ニケの会ホームページ <http://www.pcs.co.jp/nike/index.htm>



参加者募集

## ニケの会 役員一覧

|         |       |
|---------|-------|
| 会 長     | 鈴木 靖則 |
| 副 会 長   | 中村 隆志 |
|         | 吉田 千代 |
| 会 計     | 湯山るり子 |
|         | 木下ルミ子 |
| 庶 務     | 角田 恵子 |
|         | 神田 明美 |
|         | 須田 由美 |
|         | 吉村 久好 |
|         | 坂入紀美子 |
| 会 計 監 査 | 安高 俊彦 |
|         | 藤沢まゆみ |

|       |   |
|-------|---|
| 発 行   | 女子美術大学 ニケの会<br>〒252-8538<br>相模原市南区麻溝台1900 |
| 企画・編集 | ニケの会 広報担当                                 |
| 制作・印刷 | 株式会社パワープランナー                              |
| 発行日   | 2011年9月10日                                |

## キャリアカーニバル2011内保護者向け講演会

講演会日時：2011年11月3日(木・祝)  
10:00~12:00  
場所：杉並キャンパス内

〈お問い合わせ〉  
キャリア支援センター  
TEL. 03-5340-4543

## ニケの会のご案内

「女子美術大学 ニケの会」は、女子美術大学の大学院・学部・短期大学の在学生のご父母、保護者と大学が一致協力して、学生生活の向上を図り、また大学の発展に寄与し、併せて会員相互の親睦と教養を深めることを目的としています。

平成21年度後期は発足年度として、会員の皆様と共に会の地盤固めに努め、平成22年度より、会報発行、地区別父母の集い、課外活動への補助等々の事業を実施して参りました。在校生ご父母、保護者の皆様には、ぜひ入会をご検討頂きたくお願い申し上げます。詳細は下記へお問い合わせください。

## 《女子美術大学ニケの会事務局》

学校法人女子美術大学 総務部校友室  
〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900  
電話 042-778-6611 FAX 042-778-6637  
メール nikenokai@venus.joshibi.jp